第1地域 RRFC 便り
3 月号

2022 年 3 月 1 日発行

<3 月号>

この号の内容

1 基本的ニーズへの対応が
ポリオ予防接種への信頼を築くカギ
2 財団支援におけるリーダー:ポール・ハリス・ソサエティ
ポール・ハリスの生誕記念を祝う
ラティア・ガンブレルを偲んで
3 グローバル補助金奨学金の申請締切日
4 ローターアクターによるロータリー補助金の利用方法
5 ローターアクトクラブによる地区補助金
6 DDF 使用のオプション
7 国際大会が対面式で開催される!
8 正岡子規の短歌と立ち雛

基本的ニーズへの対応が ポリオ予防接種への信頼を築くカギ

パキスタンでは毎年、5 歳未満の子ども 53,000 人が、汚染水による下痢で命を落としています

パキスタンの都市カラチのはずれにあるコミュニティ、カディム・ソランギ・ゴスは、世界に残る数少ないポリオの温床の一つです。土やあり合わせの材料で作られた住居に 4 万人以上が住み、なかには、灼熱の太陽やモンスーンの雨を綿布 1 枚でしのいでいるうちもあります。「このあたりに住んでいるのは最貧困の人たち」と語るのは、パキスタンポリオプラス委員会のプロジェクトマネージャーであるアシャー・アリさんです。ここは特にポリオが根強く残っており、ポリオ根絶活動に最も強く抵抗しているコミュニティの一つです。世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)はこのコミュニティを最優先地域に指定し、パキスタンのポリオ根絶イニシアチブはこのあたりを含む行政地区(Gadap Union Council 4)を「リスクが極めて高い」地域に分類しています。ここにポリオが残りつづけるのはなぜか。その理由の一つに、ゴミの山と下水溝があります。ポリオウイルスは汚染水を介して感染するからです。しかし、もう一つの主な原因に、この地域での予防接種率の低さがあります。基本的ニーズが満たされていない地域では、住民たちにとってポリオ予防接種の優先順位は低くなります。「予防接種が拒絶されてしまうのは、宗教的な理由ではなく、市民として得られるべき快適な生活が欠けているため」と話すのは、パキスタンポリオプラス委員長であるアジズ・メモン氏です。「人びとはこう言います。『一体あなたたちはここで何をしているのか。経口ポリオワクチンを持って何度もここにやってくるが、電気、道路、安全な水についてどう支援するかは一切話してくれない』と」それでも、カラチを含む国内数カ所に浄水場が設置されたおかげで、ポリオ根絶プログラムに対する信頼はここ 2 年ほどで大きく高まっています。2020 年 12 月には、カディム・ソランギ・ゴスのコミュニティにも浄水場が作られました。これは、パキスタンに合計 36 の浄水場を設置する GPEI の取り組みの一環であり、ロータリー会員は 2012 年以来、コカ・コーラ・パキスタンとの提携、ロータリー財団グローバル補助金、ポリオプラス・パートナー補助金、ロータリー地区や他団体との協力など、さまざまな方法で浄水場の設置に取り組んできました。現在建設中や計画中の浄水場もあります。

「コミュニティで安全な水が利用できるようになった今、戸別訪問で母親たちが子どもの予防接種を拒絶することがなくなったという報告が、ポリオ予防接種ワーカーたちから寄せられています。これらのワーカーは、コミュニティに足を運びやすくなりました」とアリさん。以前、この地域は治安が悪いため予防接種活動が困難でしたが、ロータリー会員が長老や女性たち、その他の関係者と会い、現地で何が必要とされているか、ロータリーがどう援助できるかを話し合いました。「地元の人たちの信頼が得られたことで、活動を前進させることができた」とアリさんは言います。ここの住民たちが最も必要としたのは、「安全な水」でした。このため、10 年間にわたるパートナーシップを通じて国内の何万人もの人に安全な水を提供してきたコカ・コーラ・パキスタンとパキスタンのロータリーが、現地に浄水場を設置。設備の管理と維持ができるようにロータリー会員が住民を研修し、コミュニティと協力して衛生と手洗いの指導も行いました。アリさんはこう言います。「少しずつ住民たちから尊敬を得ることができ、成果が見られるようになりました」『**Rotary**』誌 2021 年 12 月号より）

【財団支援におけるリーダー：ポール・ハリス・ソサエティ】

昨年、ポール・ハリス・ソサエティ会員からの寄付は年次基金への総寄付額の 18%近くを占めました。ポール・ハリス・ソサエティは、ロータリーの年次基金、ポリオプラス、または承認されたロータリー財団補助金に毎年少なくとも 1,000 ドルを寄付することによって、ロータリーの活動を熱心に支援してくださる方々のネットワークです。ソサエティに関する詳細は、四半期に一度発行される**ポール・ハリス・ソサエティのリソースのニュースレター**の受信設定してご覧ください。

【ポール・ハリスの生誕記念を祝う】

ロータリーの創設者ポール・ハリスは、1868 年 4 月 19 日、米国ウィスコンシン州ラシーンで生まれました。親睦と地域社会のつながりを育むというハリスのレガシーは、今日も受け継がれています。ポール・ハリスの生誕記念日に、ハリスのレガシーについてお読みください。また、この日を記念して、ロータリー財団へのご寄付をご検討ください。

【ラティア・ガンブレルを偲んで】

補助金担当部の職員だったラティア・ガンブレルは、2021 年 4 月に 46 歳で他界しました。2007 年にロータリーに入局したガンブレルは、補助金担当部の支払担当コーディネーターとして、26 カ国、262 地区で実施されたグローバル補助金と地区補助金の支払手続きを担当しました。補助金の支払いについてガンブレルから E メールを受け取った方も多いと思います。2014 年以来、ガンブレルが支払いを手配した補助金の件数は 4,700 件を超え、その総額は約 2 億 9,000 万ドルに上ります。ガンブレルは、地元の教会と地域社会でリーダーシップを発揮し、ロータリーの価値観を実践していました。毎年、大学同窓会を通じて募金を行い、米国ルイジアナ州にある母校グランブリング州立大学（歴史的にアフリカ系アメリカ人が多く通う大学）の低所得の学生たちを支援する活動をしていました。ガンブレルの情熱に動かされた同僚たちは、これまでに 900 ドル以上をガンブレルの名で同大学の同窓会に寄付しています。ガンブレルが情熱を注いだこの活動をご支援くださる方は、こちらからご寄付いただき、memo の欄に「LaTia Gambrell」とご記入ください。

【グローバル補助金奨学金の申請締切日:6 月 30 日】

8 月、9 月、10 月のいずれかの月に留学を開始するグローバル補助金奨学金の申請書は、6 月 30 日までに財団にご提出ください。締切日の直前は申請書が多く寄せられ、申請プロセスに遅れが生じる可能性があります。このため、早めに申請書を提出することをお勧めします。また、活動がグローバル補助金の受領資格を満たしているかどうかを判断するために、申請書を提出する前に**補助金担当職員に申請書を見てもらう**こともできます。

【地区財団活動資金（DDF）の活用をお忘れなく】

ロータリー補助金を通じて世界や地域社会にインパクトを生み出すために、地区財団活動資金（DDF）を全額活用する方法をご検討ください。**財団資金モデルへの変更に関するページ**に、繰越 DDF の扱いに関する新しい手続きが説明されています。2026 年 7 月 1 日より、各年度末に 5 年を超えて未使用である DDF は、地区の裁量で、ポリオプラス、ロータリー平和センター、恒久基金、災害救援基金、WF（国際財団活動資金）のいずれかに充てられます。今すぐインパクトをもたらすために、DDF を全額活用しましょう。

【リソース＆参考資料】

補助金における責務（役割）

補助金に関する自分の責務がはっきりわからないというクラブ・地区リーダーもおられるでしょう。「**補助金に関する各リーダーの責務**」の資料で、各役割に伴う責務と関連リソースをご覧ください。

ローターアクターによるロータリー補助金の利用方法

ローターアクトクラブは間もなく、地区補助金とグローバル補助金を利用できるようになります。ローターアクトクラブによる補助金への参加方法、クラブと地区で準備すべきこと、よくある質問への答えをご覧ください。です。

財団専門家グループについて知ろう

最近実施されたロータリー財団専門家グループ（Cadre）に関するウェビナーで、補助金活動の計画と実施において専門家グループがロータリー会員をどうサポートできるかをご覧ください。

バーチャルの機会を生かして国際的パートナーシップを実現

バーチャルプロジェクトフェアは、自宅からプロジェクトフェアに参加し、新しい仲間とつながることのできる方法です。プロジェクト提唱者と会ったり、海外のパートナーを見つけたりしながら、異文化交流をするチャンスともなります。特定の地域での活動を支援することに関心のあるクラブは、その地域の会員と知り合い、パートナーシップを築くことができるでしょう。今後のバーチャルプロジェクトフェアの予定はこちらからご覧いただけます。

ロータリー財団参照ガイド

ロータリー財団参照ガイドは、ロータリー財団のプログラムや奉仕活動に関する概要を記載しています。

プロジェクトの計画

プロジェクトの計画を支援するリソースは、プロジェクトのさまざまな段階におけるソリューションを紹介した資料です。

グローバル補助金ガイド

グローバル補助金ガイドは、グローバル補助金の申請や、より効果的で持続可能な奉仕プロジェクトの計画に関心のあるすべての方に役立つ情報を紹介しています。

ラーニングセンター

ラーニングセンターには、ファンドレイジングや補助金への参加を含めたさまざまなコースやリソースが収められています。

ロータリーのプロジェクトフェアに参加しよう
国際的な親睦と協力を育むために

今後のフェアー覧をダウンロード

【ローターアクトクラブによる地区補助金】

ロータリーのリーダーの皆さまへ

平素より大変お世話になっております。
この度は、ロータリー財団よりローターアクトの新しい機会についてお伝えするため、再度のご連絡をしております。次年度より、ローターアクトクラブは、地元と海外での奉仕活動を支援するために、ロータリー財団の 地区補助金 または グローバル補助金 を申請することができます。地区は現在、2022-23 年度地区補助金の使用計画に、ローターアクトクラブを含めることができます。ローターアクトクラブによるグローバル補助金の申請は、7 月から可能となります。
地区ロータリー財団委員長と地区資金管理小委員会委員長は、ローターアクトクラブがグローバル補助金の申請にあたって 参加資格 を得られるよう、地区の補助金管理セミナーへの参加を呼びかけてください。
ローターアクトクラブによる補助金への参加方法、クラブと地区で準備すべきこと、よくある質問への答え をご覧ください。ご不明な点がございましたら、日本事務局財団室にご連絡ください。
よろしくお願いいたします。

メレディス・バーロー（Meredith Burlew）
補助金担当ディレクター
ロータリー財団

【シェア指定寄付レポートと補助金センター】

1. 3 年前の年次基金（シェア）への寄付額を記載した 2022-23 年度 シェア指定寄付レポート で、使用可能な額を確認する。

2. 補助金センター から 2022-23 年度地区補助金の申請を開き、使用可能な額を確認する。

【DDF 使用のオプション　2022-23 年度】

地区は DDF(地区財団活動資金)をさまざまな方法で活用できます。
2022-23 年度、地区補助金またはグローバル補助金に DDF をご活用いただけるほか、寄贈もできます。
下記をお読みいただき、DDF 活用のさまざまなオプションを理解した上で、配分をご計画ください。

地区補助金
財団の使命を支える比較的短期の活動に活用できます。使える DDF 額はさまざまであり、ロータリー財団からの上乗せはありません。地区補助金は:
✿地元または海外での活動に活用できます。
✿重点分野に該当しない活動にも使用できます。
✿奨学金、職業研修チーム、人道的プロジェクトなど(ただしこれらに限らない)の活動に活用できます。
地区補助金を申請する地区は、下記を満たす必要があります。
✿実施される活動を管理し、補助金の使途について説明責任を負う。
✿ロータリー財団補助金の授与と受諾の条件に定められた要件に従う。
✿その年度に地区に割り当てられた DDF の 50%までを申請できる(地区への支払いは年に一度、一括で行われる)。
この金額は、3 年前の年次基金(シェア)への寄付および恒久基金(シェア)からの使用可能な収益に基づいて算出される。 ✿ 財団から補助金受領の資格認定を受ける。クラブが地区から資格認定を受ける必要はない
(ただし、クラブの資格認定を地区が義務付けている場合を除く)。

グローバル補助金
持続可能・測定可能であり、より長期の大規模な活動に活用できます。使える DDF 額はさまざまであり、ロータリー財団からの上乗せがあります。
グローバル補助金は:
✿ 国際的な活動に活用されます。
✿ ロータリーの**重点分野**の一つ以上を支援します。
✿ 大学院奨学金、職業研修チーム、人道的プロジェクト(またはこれらを組み合わせたもの)に活用されます。
グローバル補助金を申請するクラブと地区は、以下を満たす必要があります:
✿ ロータリー財団補助金の授与と受諾の条件および重点分野の基本方針に定められた要件に従う。
✿ WF(国際財団活動資金)、DDF、現金、および冠名指定寄付または恒久基金収益を組み合わせた予算(最低 30,000 ドル)を提出する。財団は、グローバル補助金への DDF 寄贈に対し、WF (国際財団活動資金)から 80%を上乗せする(上乗せの額に下限はなく、上限は 400,000 ドル)。
✿ 提唱者拠出金の総額の少なくとも 15%を、プロジェクト実施国外から調達する。
✿ 補助金受領のため財団から資格認定を受ける。クラブがグローバル補助金を受領するには、地区による資格認定を受ける必要がある。

DDF 寄贈のオプション
ポリオ根絶、平和の促進、財団の未来への支援、災害救援、補助金への上乗せ資金、他地区の援助など、DDF を活用して世界に変化をもたらすことができます。

✿ ポリオプラス:ロータリーの最優先プログラムである「ポリオプラス」は、ポリオ根絶における 最も重要な活動を支援します。DDF 寄贈に対し、WF から 50%が上乗せされます(500 万ドル まで)。また、ロータリーがポリオ根絶活動に拠出する資金に対し、ビル&メリンダ・ゲイツ財団から 2 倍の資金が上乗せされます(上乗せの対象となるのは毎年 5000 万米ドルまで)。
DDF の 20%以上をポリオプラスに寄贈した地区には、年度ごとに特別な認証状が贈られます。また、2013-14 年度からポリオ根絶達成までの毎年度、この寄贈を行った地区は、認証のため RI 世界本部内に地区番号が掲げられます。
✿ 平和プログラム:平和構築のために DDF をさまざまな方法で活用できます:
★ロータリーは、世界 7 カ所のロータリー平和センターで学ぶ毎年最高 130 名(修士号取得プログラムに約 50 名、専門能力開発修了証プログラムに 80 名)に、ロータリー平和フェロー シップを授与します。
★「平和構築と紛争予防」の重点分野は、クラブと地区が紛争の原因に取り組み、リーダー を育成し、地域社会が暴力を乗り越える力と回復力を高めて明るい未来をもたせるよう支援するプロジェクトを支えます。
★ ロータリー平和センターまたは「平和構築と紛争分野」のグローバル補助金を支援する恒久基金。
少なくとも 25,000 ドルの DDF をロータリーの平和活動に寄贈した地区は、寄贈した年度におけるける「平和推進地区」となります。平和センタープログラムは、講義や実践的な研修、グローバルなネットワークを築く機会を通じて、平和と開発の実践者を育成しています。
✿ 恒久基金:恒久基金への DDF 寄贈は、財団の未来を確かなものとします。使途無指定の DDF 寄 贈による使用可能な収益(投資収益の一部)は、WF を通じて世界中のロータリーのプログラムに活用されます。基金や冠名基金への DDF 寄贈から生じた使用可能な収益は、指定された目的のために活用されます。
✿ 災害救援基金:寄贈された DDF は、災害復興と再建活動の支援に役立てられます。特定の災害を指定して寄贈することはできず、一つの基金に統合され、ロータリー災害救援補助金として活用されます。
✿ WF(国際財団活動資金):WF への DDF 寄贈は、財団の補助金とプログラムを継続していくために極めて重要です。財団は、グローバル補助金への上乗せを提供するためにこの資金を活用し ます。
✿ 地区から地区へ:ほかの地区に DDF を寄贈できます。寄贈された DDF は、ほかの地区の利用可 能な DDF 残高に加算されますが、地区補助金として利用可能な額の計算には影響しません。

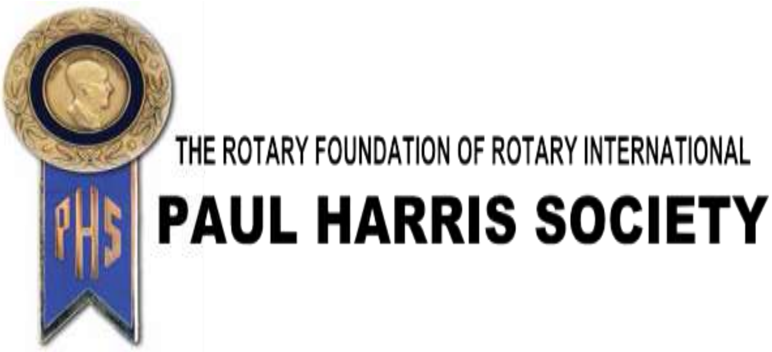
【国際大会が対面式で開催される！】

シェカール・メータ会長のビデオメッセージ

メータ会長は、対面式で開催するとの理事会決定を支持し、皆様に国際大会を更に推進して頂くため以下のビデオメッセージを作成いたしました。地区やクラブに於きまして、多くのロータリアンの方に見て頂ければ有難く存じます。

https://youtu.be/Jojnh1c5p6Q

【PHS 認証式 4 月 23、24 日札幌市で開催を準備中】



RRFC2月号 20220201 でご案内をさせて戴きました4月23日,24日の2日間、札幌において、『PHS の認証式（入会式）』を開催いたすべく鋭意準備を進めております。6月の国際大会を対面式で開催する旨のビデオを拝見いたしました。それから札幌開催を実感しています。正に現在全国からの参加を希望する方々を如何におもてなしできるかを日々考える毎日で、今後のオミクロン株の感染拡大が収束することを念じるばかりです。全国の皆様の前向きなご参加を心よりお持ち申し上げております。

さて、早いもので残り4ヶ月で退任時期を迎えます。第1地域の RRFC に就任以来毎年『PHS の認証式』を開催することばかりを夢見て参りました。現在の厳しい環境の中での私の最大の責務は、地域、全国のロータリアンの皆様に「ロータリ−財団の目的」を御理解頂き、「世界でよいことをしよう」実践継続のために、ロータリー財団への御支援をお願いすることだと強く感じています。札幌で皆様とお会いできますことを楽しみにしております。

（羽部　記）

【正岡子規の短歌と立ち雛】

「たらちねの　うなゐ遊びの　古雛の　紅（くれない）あせて　人老いにけり」

正岡 子規

未だ北国は寒い日が続いています。このお便りが届く頃には幾分春らしくなると期待しています。残り4回となった第1地域 RRFC 便りですが、お恥ずかしいお便りを送り続けたと痛感しています。
扨今月は子規の短歌を紹介することにしました。
「たらちねの　うなゐ遊びの古雛の　紅あせて人老いにけり」たらちねはお母さんを表す枕詞です。その母は年老いた母を言う場合がありますがお乳が満ちたお母さんという表現にも使われます。
うなゐとは幼いこどものことを言います。子供たちが遊んだ古い雛人形のお顔の紅もすっかりおちてしまっています。そんな昔の事供を思い返すと、人間とは何と無常な理で、年老いて情けない自分に気付かされます。今の自分を感じて詠んでみました。
幼稚園の頃、お雛様には不思議な魅力がありました。それは子供たちがお雛様に扮装するのです。私は5人囃子でした。中央の小鼓でした。お内裏様にはなりたくなかったのですが、武将姿の右大臣左大臣に憧れました。（当時の地元新聞に掲載されました）
勿論若い右大臣のコスプレをして写真を写して貰った記憶があります。恥ずかしい幼稚園の思い出です。
（羽部　記）